

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	小学校管理事務	担当課	学校教育課
総合計画	政策	ひと	計画期間 年度～
	施策	教育改革の推進	種別 法定事務
	基本事業(取組)	学びを支える環境づくり	市民協働 その他
予算科目コード	01-100201-01 単独	根拠法令・条例等	学校教育法, 学校保健安全法

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>学校教育法第5条により、学校の設置者はその設置する学校を管理し、その学校の経費を負担することとされており、学校設置当時から経費で光熱水費等を支出するもので、学校を運営していく上で必要な事業である。</p>	<p>非常勤職員（学校医、学校歯科医、学校薬剤師）及び会計年度任用職員（学校介護補助員、学校用務員、学校給食配膳員）の報酬等、各種消耗品、光熱水費、通信運搬費、土地賃借料、災害共済掛金等の支出をする。</p>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>小学校において、全ての児童が安全で快適に学習できる教育環境の維持を図り、健やかな成長の一助とする。</p>	
（参考）基本事業の目指す姿	
<p>児童生徒が、安心して学べる環境を整備する。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<p>市内小学校で支援を必要とする児童の増加傾向が続いている。</p>	<p>児童の状況に応じ、学校介護補助員を適切に配置する。（通年）</p> <p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護補助員配置基準等調査</li> <li>・配置に係る要綱策定</li> </ul> <p>【令和5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規配属となった介護補助員に対する研修を開始</li> <li>・学校からの配置要望に対して適切な判断を行うため、教育指導課と基準を作成</li> </ul>
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<p>学校介護補助員の適切な配置ができるよう、増員を含めて検討・対応する。</p>	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<p><input checked="" type="checkbox"/> 増加</p> <p><input type="checkbox"/> 維持</p> <p><input type="checkbox"/> 削減</p>	<p>介護補助員制度が十分に機能するよう、教育指導課等と連携して補助員対象の研修等を継続していくほか、必要に応じて増員対応を行う。また、光熱水費高騰傾向が続いているが、国の定める学校環境衛生基準適合を保持するため、コストは増加する。</p>

R03年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R04年度の振り返り）	
R03年度の評価（課題）	R04年度の取組（評価、課題への対応）
<p>年度当初に学校への予算説明を行い、消耗品等の購入に当たっては真に必要なかどうかを改めて考え、削減の意識をもって執行するよう指導を行い、経費削減への理解を深めてもらうよう取り組んだ。</p>	<p>学校保健安全法に基づく学校医等や、用務員、給食配膳員及び介護補助員（6名増員）を配置するほか、教職員が使用する印刷機リースや光熱水費など、学校運営の基本となる経費を支出し、安定した学校運営を図ることができた。</p> <p>また、年度当初に学校対象の予算説明会を開催し、消耗品等の購入に際して真に必要なかどうかを精査し、経費削減意識を持って執行するよう指導を行っている。</p> <p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、加湿器用消耗品等を購入したほか、市内小中学校適正配置を考える上で基礎資料となる児童数推計調査を実施した。</p>

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（R02）	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	目標値（R08）
児童1人当たりの支出額（円）	41,073.00	33,158.00	32,671.00	41,073.00	46,092.00	55,305.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	<p>経費を削減しつつ、安定した学校運営のため必要な消耗品を購入した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策として必要な消耗品等も引き続き購入し、児童及び教職員の健康維持、校内衛生環境の一層の向上を図った。</p> <p>また、介護補助員を6名増員し、支援が必要な児童が安心して学校生活が送れるような環境整備に努めた。</p>						
今後の事業の方向性（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	<p>来年度も引き続き学校への予算説明会を実施し、予算執行の際の留意事項の再確認や経費削減への理解を求めていく。また、安定した学校運営が継続されるよう、学校医等の必要な人員配置を行っていく。</p> <p>介護補助員制度についても十分に機能するよう、補助員対象の研修を継続するほか、学校や教育指導課との連携を強化していく。</p>					

コストの推移						
項目	R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	R06年度見込	
事業費	計	173,946	196,540	234,939	318,330	318,330
	国・県支出金	5,395	657	2,008	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	11,860	1,889	1,951	1,899	0
	一般財源	156,691	193,994	230,980	316,431	318,330
正職員人工数（時間数）	0.00	1,975.00	2,669.00	0.00	0.00	
正職員人件費	0	7,641	10,292	0	0	
トータルコスト	173,946	204,181	245,231	318,330	318,330	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	小学校管理備品購入事業	担当課	学校教育課
総合計画	政策	ひと	計画期間 年度～
	施策	教育改革の推進	種別 法定事務
	基本事業(取組)	学びを支える環境づくり	市民協働 その他
予算科目コード	01-100201-03 単独	根拠法令・条例等	学校教育法

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
児童の教育環境を整備することを目的とし、小学校設置時から机・椅子等の学校運営に必要な管理備品を購入する。	児童及び教職員が使用する机・椅子、管理上必要な備品、運動用具等の学校備品整備を行う。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
小学校の各種備品を整備し、小学校の教育環境の整備、充実を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
児童生徒が、安心して学べる環境を整備する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<p>学校備品については、新年度早い時期に使用する備品について、早期の納品を実施する必要性が生じている。</p> <p>また、学校規模の格差により、机や椅子等一部の学校備品については不足や余剰が生じている中で、有効活用を図る必要が出ている。</p>	<p>備品の早期納品に向けてのスケジュール</p> <p>3月末 備品購入優先順位の精査 4月～6月 入札 8月末 納期</p> <p>※備品購入については、基本として夏休み中での納品を目指す。</p> <p>また、現有状況により、随時、増加校減少校間で机や椅子等一部の学校備品の移動を行う。</p>
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<p>教育環境に支障が出ないように、新年度早々に入札を実施する必要がある。</p> <p>また、財産の有効活用を図るため、学校間の備品等の移動を積極的に行っていく。</p>	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	机・椅子等、購入対象備品単価が大幅に値上がりしているため、コストは増加する。

R03年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R04年度の振り返り）	
R03年度の評価（課題）	R04年度の取組（評価、課題への対応）
小学校から購入を希望している備品を挙げてもらい、優先順位の高いものから購入することで、必要最小限の備品購入に努めた。	小学校から購入希望の備品を挙げてもらい、ヒアリングを経て、教育活動に有効な備品購入に努めた。また、新型コロナウイルス感染症予防対策として、教室内に二酸化炭素濃度測定器を配備し、適切な換気を行うことで児童の体調維持と感染予防に努めた。 <購入備品> 児童用机・椅子、運動用具（バレーボール、ミニサッカーゴール等）、保健用具（自動体重計）、ロッカー、二酸化炭素濃度測定器等

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（R02）	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	目標値（R08）
学校からの備品購入要望対応率（%）	81.70	0.00	0.00	0.00	81.70	80.00	95.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	学校活動で必要となる備品や新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための備品を購入し、安全、快適な教育環境を提供できた。 学校要望後のヒアリングにより予備のための重複希望等を精査したため、指標値は前年度と比べ微減となったが、必要備品提供はできているため、成果は横ばいと判断する。 ※指標値変更。令和2年度実績値が入手できないため、令和3年度実績値を基準値とする。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	引き続き、学校の要望を確認しつつ、必要な備品を計画的に購入していく。					

コストの推移						
項目		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	R06年度見込
事業費	計	23,909	29,491	21,186	14,098	14,098
	国・県支出金	2,286	1,651	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	9,989	14,763	0	0	0
	一般財源	11,634	13,077	21,186	14,098	14,098
正職員人工数（時間数）		0.00	394.00	529.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	1,524	2,040	0	0
トータルコスト		23,909	31,015	23,226	14,098	14,098

令和4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	中学校管理事務	担当課	学校教育課
総合計画	政策	ひと	計画期間
	施策	教育改革の推進	年度～
	基本事業(取組)	学びを支える環境づくり	種別
		市民協働	法定事務
予算科目コード	01-100301-01 単独	根拠法令・条例等	学校教育法, 学校保健安全法

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>学校教育法第5条により、学校の設置者はその設置する学校を管理し、その学校の経費を負担することとされており、学校設置当時から経費で光熱水費等を支出するもので、学校を運営していく上で必要な事業である。</p>	<p>非常勤職員（学校医、学校歯科医、学校薬剤師）及び会計年度任用職員（学校介護補助員、学校用務員、学校給食配膳員）の報酬等、各種消耗品、光熱水費、通信運搬費、土地賃借料、災害共済掛金等の支出をする。</p>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>中学校において、全ての生徒が安全で快適に学習できる教育環境の維持と健やかに成長することを図る。</p>	
（参考）基本事業の目指す姿	
<p>児童生徒が、安心して学べる環境を整備する。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<p>中学校においては支援を必要とする生徒数の増加傾向はみられないが、小学校同様に適性な配置及び運用が求められている。</p>	<p>生徒の状況に応じ、学校介護補助員を適切に配置する。</p> <p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護補助員配置基準等調査</li> <li>・配置に係る要綱策定</li> </ul> <p>【令和5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規配属となった介護補助員に対する研修を開始</li> <li>・学校からの配置要望に対して適切な判断を行うため、教育指導課と基準を作</li> </ul>
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<p>中学校における学校介護補助員の配置要否を適切に判断できるよう、教育指導課と協力して判断基準を策定し、対応していく。</p>	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<p><input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減</p>	<p>光熱水費の高騰傾向が続いているが、国の定める学校環境衛生基準適合を保持するため、コストは増加する。</p>

R03年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R04年度の振り返り）	
R03年度の評価（課題）	R04年度の取組（評価、課題への対応）
<p>年度当初に学校への予算説明を行い、消耗品等の購入に当たっては真に必要なかどうかを改めて考え、経費削減の意識をもって執行するよう指導を行った。</p>	<p>学校保健安全法に基づく学校医等や、用務員、給食配膳員及び介護補助員を配置するほか、教職員が使用する印刷機リースや光熱水費など、学校運営の基本となる経費を支出し、安定した学校運営を図ることができた。</p> <p>また、年度当初に学校対象の予算説明会を開催し、消耗品等の購入に際して真に必要なかどうかを精査し、経費削減意識を持って執行するよう指導を行っている。</p> <p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、加湿器用消耗品等を購入したほか、市内小中学校適正配置を考える上で基礎資料となる生徒数推計調査を実施した。</p>

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（R02）	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	目標値（R08）
生徒一人当たりの支出額（円）	27,808.00	28,357.00	27,829.00	27,808.00	30,498.00	38,255.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	<p>経費を削減しつつ、安定した学校運営のため必要な消耗品を購入した。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策として必要な消耗品等も引き続き購入し、児童及び教職員の健康維持、校内衛生環境の一層の向上を図った。</p> <p>成果指標値は増加しているが、主な原因が光熱水費の高騰であることから、成果は横ばいと判断する。</p>						
今後の事業の方向性（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	<p>来年度も引き続き学校への予算説明会を実施し、予算執行の際の留意事項の再確認や経費削減への理解を求めていく。また、安定した学校運営が継続されるよう、学校医等の必要な人員配置を行っていく。</p> <p>学校介護補助員制度については、小学校と同様、十分な機能が発揮されるよう、教育指導課及び学校と連携強化し、適正な配置及び運用を行っていく。</p>					

コストの推移						
項目	R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	R06年度見込	
事業費	計	51,863	58,709	73,029	102,736	102,736
	国・県支出金	1,768	1,203	832	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	826	849	894	896	0
	一般財源	49,269	56,657	71,303	101,840	102,736
正職員人工数（時間数）	0.00	1,383.00	1,444.00	0.00	0.00	
正職員人件費	0	5,351	5,568	0	0	
トータルコスト	51,863	64,060	78,597	102,736	102,736	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	中学校管理備品購入事業	担当課	学校教育課
総合計画	政策	ひと	計画期間 年度～
	施策	教育改革の推進	種別 法定事務
	基本事業(取組)	学びを支える環境づくり	市民協働 その他
予算科目コード	01-100301-04 単独	根拠法令・条例等	学校教育法

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
生徒の教育環境を整備することを目的とし、中学校設置時から机・椅子等の学校運営に必要な管理備品を購入する事業である。	生徒及び教職員が使用する机・椅子、管理上必要な備品、運動用具等の学校備品整備を行う。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
中学校の各種備品を整備し、中学校の教育環境の整備、充実を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
児童生徒が、安心して学べる環境を整備する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<p>学校備品については、新年度早い時期に使用する備品について、早期の納品を実施する必要性が生じている。</p> <p>また、学校規模の格差により、机や椅子等の一部の学校備品については不足や余剰が生じている中で、有効活用を図る必要性が出ている。</p>	<p>備品の早期納品に向けてのスケジュール</p> <p>3月末 備品購入優先順位の精査 4月～6月 入札 8月末 納期</p> <p>※備品購入については、基本として夏休み中での納品を目指す。</p> <p>また、現有状況により、随時、増加校減少校間で机や椅子等一部学校備品の移動を行う。</p>
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<p>教育環境に支障が出ないように、新年度早々に入札を実施する必要がある。</p> <p>また、財産の有効活用を図るため、学校間の備品等の移動を積極的に行っていく。</p>	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	机・椅子等、購入対象備品単価が大幅に値上がりしているため、コストは増加する。

R03年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R04年度の振り返り）	
R03年度の評価（課題）	R04年度を取組（評価、課題への対応）
<p>中学校から購入を希望している備品を挙げてもらい、優先順位の高いものから購入することで、必要最小限の備品購入に努めた。</p>	<p>中学校から購入希望の備品を挙げてもらい、ヒアリングを経て、教育活動に有効な備品購入に努めた。また、新型コロナウイルス感染症予防対策として、教室内に二酸化炭素濃度測定器を配備し、適切な換気を行うことで生徒の体調維持と感染予防に努めた。</p> <p>&lt;購入備品&gt;                  生徒用机・椅子、運動用具（ハードル、走高跳スタンド等）、保健用具（液晶視力計等）、スチール台車、二酸化炭素測定器等</p>

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（R02）	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	目標値（R08）
学校からの備品購入要望対応率（%）	89.30	0.00	0.00	0.00	89.30	96.10	95.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	学校生活で必要となる備品や新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための備品を購入し、安全、快適な教育環境を提供できた。 令和4年度は、前年度に比べて予備のための重複希望等が少なかったため、ヒアリング時の精査が少なく、必要備品の購入を効率的・効果的に実施することができた。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	引き続き、学校の要望を確認しつつ、必要な備品を計画的に購入していく。					

コストの推移						
項目	R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	R06年度見込	
事業費	計	13,319	15,288	7,488	8,825	8,825
	国・県支出金	5,887	658	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	6,561	0	0	0
	一般財源	7,432	8,069	7,488	8,825	8,825
正職員人工数（時間数）	0.00	376.00	516.00	0.00	0.00	
正職員人件費	0	1,455	1,990	0	0	
トータルコスト	13,319	16,743	9,478	8,825	8,825	